

2019 年度若手研究者共同研究プロジェクト実施報告書

法政大学総長 殿

以下のとおり研究実施報告書を提出します。

基 本 情 報	研究課題名：建築家・大江宏の設計手法に関する研究 - 一次資料の蒐集分析を通して -
	研究代表者 氏名： 石井翔大
	(在籍者) 研究科・専攻・学年： (修了者) 所属・職種： デザイン工学部建築学科 教務助手
	指導教員(所属・職・氏名)： (※在籍者のみ記入)
	共同研究者(所属・職・氏名)： デザイン工学部建築学科 教授 (※指導教員と同人の場合は記入不要) 安藤直見
	その他 研究分担者：
	研究期間： 2018年度 ～ 2020年度(※研究修了年度を記載)
年 間 の 研 究 実 施 概 要	※研究計画の進捗状況を中心に今年度の研究実施状況を記載してください。 ・2019年度日本建築学会大会にて、2018年度の研究成果を発表した。 ・大会からの帰路にあいて、入善町民会館(大江宏設計)ほか、複数の建築作品を見学した。 ・文献調査をおこなった。 ・昨年度蒐集した写真資料と実測データをもとに、CADで図面の復元をおこなった。作成できた図面は立面図2枚、平面図1枚である。

研 究 業 績	成果発表（学会・論文・研究会等）		
	学会・論文・研究会等の別	タイトル	発行または発表年月
	2019 年度日本建築学会大会	大江宏設計・乃木神社儀式殿 に関する研究・資料調査の経 過報告	2019 年 9 月